令和7年
3月1日 第87号

早島町
議会だより

12月15日「ゆ田の会」主催の
イ草植え付け体験会に多くの
ボランティアが参加

Contents

12月定例会概要 …… 2P
児童館　ゆるびの舎へ移転 …… 3P
令和7年度予算編成に係る政策要望 …… 5P
ここが聞きたい！一般質問 …… 7P～14P
二十歳の集い …… 16P

宮山グランドの使用料決定

早島町スポーツ施設条例を一部改正

12月定例会は12月5日～17日に開催され、17議案、陳情5件が審議されました。

宮山グランドは、指定管理者であるF・Hスポーツクラブにより人工芝を敷設する工事が進められており、人工芝化施工後の利用料金を設定する議案について審議が行われ、全会一致で可決されました。（下段　表1）

その他の議案を含めた全17議案を全会一致で可決しました。

【その他の主な議案】

○町税条例の一部改正
○国民健康保険条例の一部改正
○公共下水道条例の改正
○小・中学校タブレット端末調達契約
○町職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定

陳情・請願

○継続審査　陳情第14号
介護保険の訪問介護基本報酬引き下げの撤回を求める陳情書　―**趣旨採択**

○継続審査　陳情第24号
早島町在住男子に対するＨＰＶ任意予防接種費用助成制度の創設を求める陳情　―**採択**

○陳情第25号
新型コロナウイルスワクチン定期接種の対象範囲拡充と貴町独自での費用負担軽減に関する陳情書　―**採択**

○陳情第26号
特定疾患患者療養通院費に関する陳情　―**採択**

○陳情第27号
早島町心身障害者医療費助成制度に関する陳情　―**採択**

【表１】宮山グランドのリニューアルオープンに伴う同施設の利用料金

名　称	種　別	使用者区分	単　位	金　額		
				平　日		土日祝日及び学校長期休業日
				日　中	夜間（照明施設を使用する時間帯）	
宮山グランド	専用使用	町内	1時間当たり	2,000円	4,000円	4,000円
		町外	1時間当たり	6,000円	6,000円	6,000円
	会議室	―	1時間当たり	1,000円	1,000円	1,500円
	照明施設	―	1時間当たり	―	1,000円	1,000円

備考　移動、準備、後片付けの時間も使用時間に含まれる。
過半数を町外在住者で構成する団体が宮山グランドを専用使用する場合は、町外料金を適用する。
令和７年４月１日より適用

町立児童館　ゆるびの舎へ移転

早島町児童館条例等の一部改正

1月臨時会は1月27日に開催され、全3議案が審議され、全会一致で可決されました。

【産業文教常任委員会】

早島町児童館条例等の一部を改正する条例の制定について

Q 児童館をゆるびの舎に移転して、留守家庭児童会の定員を増やすということだが、児童館を移転する上で、利用人数を想定して計画を練る必要があるのでは。

A 法律上、児童館の定員の定めはないが、現児童館と児童プラザの平均利用人数を考慮すると、面積は十分に確保できる。

Q 入退館の把握や安全管理はどのように行うのか。

A 児童厚生員を1名増員し、巡回が行えるような体制を作る。入退館については、可能な限りアナウンスを行う。

Q 施設の充実にむけて、児童館運営委員会の力を借りるべきでは。

A これまでの運営委員会のあり方は、報告の意味合いが大きかった。これからは年に複数回開催して、より多くの意見を取り入れたい。

Q 留守家庭児童会の定員が増えるが、人が増えればトラブルも増える。民間の活用は。

A 研究中であり、導入するかどうかはわからないが、前向きに検討したい。

【予算審査常任委員会】

令和6年度早島町一般会計補正予算（第9号）

Q 中学校の武道館に、夏までに空調設備を設置する確約を。

A 夏に間に合うように実施する。災害時は避難所となる場所でもある。教育だけではなく災害対策の充実と考えれば、空調は設置する必要がある。

小学校体育館、6月を目途にクーラー設置。令和7年度中に学校施設整備計画の方向性を示す

【予算審査常任委員会】

早島町一般会計補正予算（第7号）等、全8議案を全会一致で可決

小学校体育館耐力度調査予算の減額について

Q 体育館の暑さ対策と、学校施設整備計画の策定は。

A 6月を目途に小学校体育館にクーラーを設置する。学校施設整備計画は、先進地視察や専門部署の設置を行い、令和7年度中に一定の方向性を示す。

超過勤務手当の増加について

Q 特定の部署での超過勤務が増加しているがその実態は。

A 数年に一度の計画策定業務等により、一時的に増加している。恒常的なものとならないよう職員の事務負担の軽減を図っていく。また、人員確保を行うため、積極的に職員採用を行い、職員定数の見直しも検討する。

町道16号線の道路改良工事について

Q 令和7年度に先送りとなった理由と今後の見通しは。

A 県道松島線の工事完了が遅れていることによるもの。町道の整備は令和7年度から5カ年計画で整備を行う予定。

ふるさと納税について

Q 現在のふるさと納税の状況はどうか。

A 令和6年12月8日時点で1万5千件を超えており、寄付金額が2億5千2百万円である。

町税条例の一部改正等5議案を可決

【総務厚生常任委員会】

地方活力向上地域等特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正

Q 本社機能等、早島へ主な拠点を置く企業を増やすための策はあるのか。

A 県が主体となり、地域再生計画を定めている。その計画に則り、町でも移転してくる企業への固定資産税の軽減を行うために必要な条例。

早島町国民健康保険条例の一部改正

Q 県下統一の基準として出産育児一時金を48万8千円にするということだが、現行の50万円から変わるのか。

A 実質50万円支給で変更はない。48万8千円の基本額とは別に、産科医療補償制度に加入する分娩機関で出産する場合に必要な掛け金1万2千円をプラスしたもの。

Q 葬祭費は5万5千円から5万円に減額となるのか。

A その通り。県内での給付水準の統一を進めており、各市町村が葬祭費の支給を一律5万円に揃える。

Q 条例上、出産育児一時金は48万8千円にプラスして3万円を上限に加算できるとある。5千円減額される葬祭費に関しても加算額を記述すればよいのでは。

A これらの給付費を県下で統一することになっている。出産育児一時金は条例で加算額の上限を3万円としているが、施行規則により加算額を1万2千円と定めて運用している。

陳情・請願

【主な意見】

早島町在住男子に対するHPV予防接種費用助成制度の創設を求める陳情について

行政として、どの程度支援できるかが課題

早島町スポーツ施設条例の一部を改正する条例を原案の通り可決

【産業文教常任委員会】

Q 宮山グランドの使用料金改正に伴い、少年団や部活動等の減免対象であった使用料金を本町から指定管理者に対して負担することになるが、スポーツ施設全体の経常経費としての伸びはどの程度になるか。

A 経常経費全体として毎年2000万円程度かかっているので、それに負担分減免補填が610万円程度増える。

Q 宮山グランドを指定管理にすることで、環境の整備がされる一方で、町の費用負担も増えてしまう。民間委託をする際には、メリット、デメリットを総合的に検証する必要があるのでは。

A 今回の指定管理に伴いグランドのみならず、付随する施設の質も格段に向上する反面、町の負担増は避けられない。しかし、相応に住民サービスが向上するメリットがある。

町民に良いものを還元することが町に求められている課題。

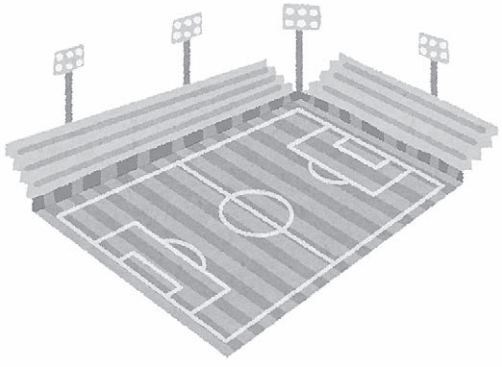
そういった観点で今後も進めていく。

その他の議案

○早島町公共下水道条例の一部を改正する条例について

○早島小・中学校タブレット端末調達契約について

の2議案は原案の通り可決されました。



令和７年度予算編成に係る政策要望

早島町議会では、町が抱える様々な課題に対し、早急な対応を求めるため、次年度予算の編成にあわせて町執行部に対して要望書を提出しています。

本年度は、令和７年度の予算編成にあたり、下記の項目について要望書を作成し、議長及び副議長から町長に対し申し入れを行いました。

●職員の適正数の随時採用

〇公務員に対する研修への積極的な参加と人事交流及び先進地視察の実施

〇全国コンパクトタウン議会サミットへの議員の派遣

●議会におけるペーパーレス化(タブレット端末導入)の推進

〇雨水貯留施設の設置も含めた防災機能を備えた公園の整備計画の具体化

●老朽化した公共施設の整備に関するグランドデザインの作成

●バス及びタクシー助成事業等の公共交通全体の整備・検討

〇決算における政策評価の実施と町民にわかりやすい予算情報の公表

〇町長公約である児童館新設について、複合施設としての整備も含め、検討を行うこと

〇アピアランスケアに関する助成制度の創設

〇補聴器購入助成制度の創設

〇インフルエンザ予防接種費用65歳以上の高齢者への無償化

〇社会福祉協議会に交付する補助金や委託事業について十分な協議と合意を行うこと

〇市街化区域編入予定区域における水路等の農業基盤整備の実施

〇「町農業水利施設維持管理支援金支給事業」の継続・拡充

〇市街化区域編入予定区域における水路等の都市基盤整備の実施

〇町内全域の道路白線整備

〇市街化区域編入を前提とした歩道等の整備

〇朝夕の生活道路での通過車両のスピード超過に対する徐行・交通標識の設置

〇二間川筋と県道駅前停車場線の交差点の道路改良等、交通安全対策の早期実現

〇主要町道の継続的な道路修繕をはかること

〇側溝整備（蓋の設置等）を要望に即して実施すること

〇二間川筋の水路改修・道路拡幅による早期渋滞緩和の実施

●道路等の維持管理費の増額

●小学校体育館への早急な空調設置

〇中学校武道館への早急な空調設置

〇中学校体育館への早急な空調設置

●学校施設の今後のあり方についてのプロジェクトチーム・委員会等の設置

〇利用予約時間外の南グランドの無料開放

※太字の項目は、今政策要望における最重点要望項目です。

行政視察を受け入れています

令和6年11月13日に、福井県永平寺町議会より議員有志が来町されました

令和6年に人口戦略会議が発表した分析結果により、早島町が岡山県内で唯一「自立持続可能性自治体」に分類されたことから、早島町の子育て支援や企業誘致について質疑や意見交換を行いました。

福井県永平寺町ってどんな町？

福井県の県庁所在地である福井市に隣接する自治体で、福井市のベッドタウンの側面を有する歴史文化に恵まれた町です。

町名の由来である永平寺は、曹洞宗の開祖である道元が鎌倉時代に開山した寺院であり、曹洞宗の大本山として現在まで歴史を紡いでいます。

議会からの声明

平素より議会活動に対し御理解と御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

現在議会及び議員に対する誹謗中傷が流布されていますが、議会活動に多大な支障が出ており、決して許されるものではありません。

町議会の総意として、毅然とした対応で挑む決意です。

早島町議会は、議会基本条例において議員の政治倫理を規定しており、町議会政治倫理基準を定めております。

議員それぞれがその理念に基づき、高い論理性の下、責務を自覚し、議員活動に努める決意です。

議会としても、今後も自由闊達な議会内での議論を推進するとともに、事実に基づいた正確な情報を、議会だより等を通じて発信してまいります。

また、町民の皆様には、町政や町議会に参加する手段として議会に請願・陳情等によって御要望をお寄せいただくことができます。

あわせて、今後議会報告会も開催する予定でございます。ぜひ活用してくださいますようお願いいたします。

今後とも議会活動に御理解と御協力いただきますようお願い申し上げます。

早島町議会

YouTube
一般質問の様子はこちら

片岡正夫 議員

問 物価高騰・賃金上昇の中、各種団体や地域活動等への補助金の対応は

答 物価や人件費等、社会経済情勢を踏まえ、交付基準を見直す

人件費・補助金・交付金等の対応

問 公務員給与は大幅アップだが、教育委員会、農業委員会等をはじめ水利委員や土木委員などの非常勤特別職の報酬。また、公園や道路の草刈り、水路清掃を行う団体等への費用弁償について見直す必要があるのでは。

答 町長 来年度以降、物価や人件費等、社会経済情勢を踏まえ、交付金に加え交付基準を見直すこととしたい。

問 小中学校、幼稚園の給食費は無償だが、保育園の主食費は有償である。保育園児も町の将来を担う大切な宝物である。無償化を求めるとともに、保護者の朝の負担も考慮し、4園において、給食等の共通部分については、各園平等であるべきではないか。

答 町長 各園の独自性や保育方針をはじめ、各園の特色を尊重したいが、今後、園長会で共通認識をもって話をしてもらうようにする。

※各園の特色を否定はしないが、役場の事務処理において、希望に添えない園になる場合もある。どの園になっても、楽しい園生活が送れるよう、最低限度の平等を望む。

令和7年度予算編成

問 町長選挙の公約を、どのように来年度予算に反映するのか。

答 町長 特に重点を置く施策は防災と教育。

防災では、防災行政無線が聞こえづらい地域で情報端末の利用が困難な方を対象に、自宅で防災情報を受信できる機器を導入する予算を計上。

教育では、学校施設のＬＥＤ化。

中学校武道館の空調設備の整備及び、小学校体育館の仮設空調設備整備の経費を計上したい。

問 以前、土木担当要望の50％しか整備の達成ができてないと聞いたが、来年度予算でどう解決するのか。

答 建設 今年度、道路維持の修繕量を大幅増額し、約８割が対応できた。来年度も同程度の修繕料を確保したい。

問 町の最重要課題の一つでもある水路改修は、長年置き去りにし、先送りしてきた汚点と言っても過言ではない。

佐藤町長にツケが回ってきているが、町長も先送りするのではなく、長年の遅れを取り戻すためにも、最大限の予算計上をするべきでは。

答 産業 農業振興地域内の水路整備を継続的に実施しているが、さらに加速するため、新たな路線整備を進めたい。

※水路の老朽化は農業振興地域だけでなく、市街化区域内も重要な課題である。有効な補助事業を活用し、是非、来年度以降、積極的な事業の取り組みを願う。

その他の要望

○早島駅南口新設に伴う周辺道路の整備

○災害に備えるためのマンホールトイレの整備

○国庫補助事業によるトイレトレーラーの導入

YouTube
一般質問の様子はこちら

林　郁夫 議員

問 小中学校等の公共施設の老朽化対策について
答 来年度に一定の方向性を示す

問 学校施設の老朽化対策グランドデザインについて、現在の学校敷地内に施設を設けるか、他の適切な土地に施設を設けるか、早急な判断が必要では。

答 教育長 体制づくりを行い、必要な機能や施設活用の在り方を議論し、保護者や教育者も交えた意見交換の実施等、地域と共に理想的な教育環境を作り上げる。

問 いつまでに計画を示すのか問う。

答 町長 来年度には、公共施設の再編等の計画を行う専門的な組織を設置する。

他自治体の先進事例を視察し、小中学校の一体運営、他の公共施設との機能を複合した運営等を検討し、令和7年度中には、一定の方向性を示す。

問 文科省の小・中学校設置基準によると、小学校は、11，184㎡、中学校は、7，912㎡となる。

将来の必要計画面積について問う。

答 教育長 現在はこれらの基準を満たす面積を有しており、現状でも児童のピーク時に対応可能な面積を有している。

問 現在の敷地内で児童の快適な学校生活や時代に応じた教育環境の整備・改築ができるか問う。

答 教育長 ハードとソフト面が合致したものにしなければならないと考えている。

問 早急な老朽化対策が必要な公共施設と都市計画道路駅前バイパス線を一体とした町が目指す「まちづくり」のグランドデザインについて問う。

答 町長 老朽化施設の単体の機能を他に一体整備できる機能がないか、都市計画道路に伴う公共施設の一部移転など、様々な要因を総合的に勘案した上で検討する。

学校施設の在り方を検討することは、その先にある他の公共施設の再編にも関わることであり、まず、学校施設の検討を進める。

人口規模や施設の将来利用展望等、まちづくりの観点も踏まえた効果的かつ実効性の高い計画となるよう鋭意努力する。

新JR早島駅周辺の活性化

問 新JR早島駅は令和7年度末に完成し、バリアフリー化するが、新しくできる駅関連施設を含めた駅周辺の活性化計画について問う。

答 町長 駅前というアクセスの良い立地特性を生かし、町内外を問わず様々な人を呼び込むイベント等を契機とした関係人口の増加、ひいては本町の魅力、認知度の向上による転入者の増加など、町民満足度向上と同時に町外への本町の魅力を訴求する両軸で施策を展開したい。

YouTube
一般質問の様子はこちら

根木　一　議員

問 スプレー缶の穴を開けずに回収を
答 ゴミの分類等の課題を整理した上で検討したい

問 倉敷市は、スプレー缶に穴を開ける作業中に顔にけがをする事例が発生、現在では穴を開けずに回収。町も事故が起きてからでは遅い。穴を開けずに回収を。

答 副町長 関係業者、曜日変更、ごみ減量化推進委員の意見等を含めて調整する。着地点を確実に共有し検討を進める。

防災・減災対策

問 地区防災計画は、東日本大震災の教訓を踏まえて創設された制度で、地区居住者などが主体となって、自主防災組織等が作成するものである。

答 町長 各地区での自主的な地区防災計画の積極的な策定に向け、講師や印刷等、策定に係る経費の助成制度を新たに設けたい。

問 倉敷市真備地区に新設された復興防災公園の視察と学習会を町として実施する考えは。

答 総務 自主防災連絡協議会の取組の一環として、まびふれあい公園での研修会の実施、先進地の事例収集の上で展開し、自助、共助の重要性や必要性を認識していただき、地域、町全体の防災力の底上げに努めたい。

問 住宅の耐震化対策として、高知県黒潮町では自己負担が無く、多くの家の耐震改修が進んでいる。補助金の増額について。

答 建設 令和４年度耐震改修補助金の上限を１００万円に引き上げた。国や県の補助限度額の見直しについて早急に対応する。

問 避難所のスフィア基準の基本理念として、被災者には、尊厳ある生活を営む権利、支援を受ける権利がある。

答 町長 避難所避難となった場合は、スフィア基準の趣旨を踏まえた生活環境を確保できるよう、私生活の空間を確保するため、必要な資機材や備蓄品を計画的に整備する。

問 高齢者、障害者などの災害弱者を守るため、福祉的視点の向上に向け、ＮＰＯや民間企業なども積極的に参加できる体制構築、民間の活動団体の登録制度を検討すべき。

答 総務 国の動向を踏まえながら、災害時における支援体制の多チャンネル化、支援体制の構築を目指し、県内自治体と情報交換しながら工夫する。

問 少子・高齢化で崩れつつある地域コミュニティの再構築という観点からも、町として引き続き町民の命を守る国土強靱化や防災・減災対策を。

答 町長 自主防災組織や消防団、関係者と連携を深めながら、災害想定訓練の深化、充実と研修等の積極的な取組のほか、資機材、備蓄品の充実等、的確に対応できる防災・減災対策のレベルアップを図る。

地域包括ケアシステムの構築

問 10年後には、高齢者人口の増加により、在宅医療や訪問介護の担当範囲外のオンライン金融取引など、介護職にとっても担当外のニーズが増える。

答 町長 新たな取組として、重層的支援体制の構築を目指す。①属性を問わない相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援体制を一体的に実施する体制を整備する。

YouTube
一般質問の様子はこちら

細田貴道 議員

観光資源は「早島の歴史」。しっかりと発信していただきたい

体験型観光や返礼品により、町の魅力をPRできる施策に取り組みたい

問 コロナ禍が明け国内旅行も活発になり、外国人観光客も10月時点で3，300万人を超えている。

来年は大阪万博・瀬戸内国際芸術祭の開催年でもあり、このチャンスに早島町も何らかの手を打つ必要があるのではないか。観光協会の強化、観光資源の発掘、観光情報の発信等、どのような活動をしているのか。

答 町長 早島町観光協会はこれまで3回総会を開催し、早島を盛り上げるための事業が提案されるなど、活発な議論が役員間でなされている。観光協会の今後の活動に期待している。

問 観光協会の来年度の事業計画は。

答 産業 観光協会のHPの開設。来年度から町の単独事業になるALKARE早島による、町外からの誘客をめざした内容の充実。ご当地グルメの開発や、イグサ文化を取り入れた体験型コンテンツ、ワークショップの開催などを予定している。

問 今年度の当町へのふるさと納税寄付額が驚異的に伸びている事は大変喜ばしく、企画課、産業課の努力に敬意を表する。このチャンスを生かし、キャラクター、パンフレット、手書きのメッセージ等を活用し、早島町のPRを推進すべきだと思うがどうか。

答 産業 今年度のふるさと納税は1万5000件を超える方々に、総額約2億5000万円のご寄付をいただいている。

多くの方々に早島町を知っていただく好機と捉え、委託業者と協議し、PRカードを作成している。

問 早島町観光ボランティアガイドの会では、様々なグループから月数件のガイドを実施しているが、アンケートでは良い反響をいただいている。

ガイドさんの丁寧な説明とともに、町を散策する楽しさや新たな発見、特に歴史についての興味関心が高い。早島の観光資源は歴史ではないかと思う。

平成29年に教育委員会が発行した「早島歴史紀行」は早島の古代からの歴史が網羅され、国の一大産業としての畳表、花ござの生産等が掲載された貴重な資料となっている。しっかりと活用して、PRしていくべきと思うがどうか。

答 副町長 観光とふるさと納税は切っても切れないと思っている。観光が進化することで町の魅力が高まり、ふるさと納税もリンクして上がっていくよう、様々な年代の知恵を結集し新たな施策に取り組んでいきたい。

YouTube
一般質問の様子はこちら

古田敬司 議員

問 橋上板経年劣化の更新を
答 早期実現に向け、予算の確保等を進めたい

問 ふれあいの森公園内の施設管理について遊歩道の階段手摺の腐食、階段土留めの砂流出、さらには公園ベンチの腐食等、多くの不備が見受けられる。

また深砂橋の橋上板は経年劣化と思われる割れが見つかり応急処置が行われている。

この橋は建設されて30数年経過しており、指定管理者との協定では30万円未満は指定管理者の負担となっている。全面張り替えも含め、行政が管理すべきでは。

答 町長 ご指摘いただいた点については町としても目の届かなかった点でもあり、反省している。

答 建設 使用不能な手すり、ベンチ等の設備については撤去を進める。また安全上修繕が必要と判断した施設は優先順を決めて対応し、公園全体における適切な維持管理に努めていく。

橋上板の補修・修繕は指定管理者が小規模補修で対応をお願いしたい。

なお橋上板の全面更新を視野に早期の実現に向けて、予算の確保等、取り組みを進めたい。

AIデマンド交通実証実験

問 実証実験の主旨は今後のバス、福祉タクシー、乗り合いタクシーなど町内移動における公共交通の在り方を再構築するための取り組みと認識している。実証実験開始からまだ一か月しかたっていないが、現在までの利用状況、利用者の声をどのように受け止めているのか。

答 町長 本町の公共交通にはそれぞれの課題があり、持続可能なものなのか、適正な事業であるか、私が議員の時から疑問を持っていた。

あるきっかけでAIデマンドタクシーを知り、この度実証運行を行うこととなった。利用状況は12月8日までで利用者数121人、一日当たりの平均利用者数は約3・2人となっている。11月の実証運行開始から少しづつ利用者数は増加傾向にある。

利用者の声の把握については利用者にアンケートを配布し、評価や意見を収集している。

AIデマンド交通は地域の交通課題解決に向けた重要な取り組みであり、多くの方々にご利用いただくことでその効果を最大限に引き出すことができると信じている。

問 利用者数は多いのか、少ないのか。

答 企画 今現在行っているmobiというAIデマンドタクシーの会社に伺ったところ、体験した方から口コミで徐々に広がって今の状況は決して少ないことではない。との返事があった。

問 2か月間の実証実験として結果が得られるのか、一度事業化した行政サービスを廃止するには、相当な覚悟と町民が理解と納得する理由が求められる。必要であれば運行期間を再設定することも考えるべきでは。

答 町長 基礎データが不足していれば再度の実証実験も検討する必要がある。

YouTube
一般質問の様子はこちら

真鍋和崇 議員

問 小・中学校、体育館、防災公園、児童館、公民館・どの施設整備を優先し行うか
答 次年度、専門組織をつくり検討する

問　小・中学校と体育館、防災公園、児童館や公民館施設など、優先されるべき順番は。

答　町長　次年度、公共施設再編の計画を行う専門組織を設置する。

都市計画道はいつできるか

問　県道倉敷妹尾線の代替として、都市計画道路駅前バイパス線（以下、都計道）は町がするのか、事業化を県に要望しているのか。

答　町長　県に県道のバイパスとしての整備を繰り返し要望している。

問　実施時期は。

答　建設　具体的にいつからとは言えないが、R8年度からの事業化を県に要望している。

問　事業化から開通までどの程度の年月を見込むか。

答　建設　県道早島停車場線―藤戸早島線間の900mでおおむね10年を想定。

問　令和8年度からの事業化は可能か。

答　建設　一生懸命要望している状況。

問　3点要望したい。

①事業化から開通までも10年を要する事業。「すぐにでもできる」かのような説明はやめてほしい。

②都計道を理由に沿線の公共施設の設備改善を行わない理由にしないでほしい。

③都計道を理由に町民が要望する事業の先延ばしをせず推進されたい。

答　副町長　町民への情報公開は適切に行い、施設整備は全体を俯瞰し対応する。

南グランド自由利用の再開を

問　現在施錠され、利用予約者以外の立ち入りはできなくなっている。有料施設だが、放課後や早朝に子どもたちが自由にキャッチボール等を楽しむ憩いの場であったことも事実。安全対策と丁寧な注意喚起の上、利用再開の検討を。

答　教育長　児童の遊び場確保の要望には可能な限り対応したい。どう提供できるか検討中だ。

問　私はフェンスかさ上げ等の対策を求めたが、「都計道ができるから困難」との答弁だった。

今必要な事業は積極的に実施を。同時にマナーを守り正しい利用ができる土壌づくりを。

答　教育長　重々考えている。

【その他の質問】

○流通団地下水道「汚水ポンプ場非常用電源設備」の更新について、瑕疵工事が指摘された際の答弁は適切であったか。総括を。

○留守家庭児童会（しろやま学級）の過密解消策として「民間事業所」の立地誘導策の検討を求めてきた。その後の状況は。

YouTube
一般質問の様子はこちら

平岡江利子 議員

問 児童の早朝預かり保育を考えていただきたい

答 来年度の予算化を視野に入れ、現在検討を進めている

朝の小1の壁

問 朝の保育園預かり時間と小学校の登校時間との間に生じる数十分のギャップを解消すべく、児童の早朝預かり保育を考えていただきたい。

朝の子どもの居場所の確保は、誰がどこで担うべきか、学校現場に負担を増やさない支援の在り方が課題。子育てがしやすい社会をつくることは、少子化対策にもつながるので、小学校登校時間前の児童の居場所の確保を考えていただきたい。

答 教育長 朝の小1の壁は、共働き世帯が増加する中で、保護者の就労環境や、子どもたちの朝の居場所に関する重要な課題。

少子化対策や働き方改革の観点からも、子育てがしやすい町の実現に向けて引き続き前向きに取り組んでいく。

要望 7年度4月に受けて朝の小1の壁を解消できるよう支援を。

問 教員に対しての指導や支援は適切か

近年の不登校原因で、事前防止が可能であり、早めの修正ができるもののひとつに、教員との関係がある。

生徒との関係性において教職員が適切な言葉遣いや行動を心がけることが重要。生徒が教職員の言葉や態度に対して不安や違和感を持つケースもある。未然に防ぐためにも、感情に左右されない冷静な対応や適切な指導のスキル向上が必要。今後も指導力向上に取り組むことが求められる。

答 教育長 教員研修では、それぞれのスキルに応じた個別最適な内容を提供している。

また、教員が心にゆとりを持ち、子どもたちに穏やかに接するために、勤務負担の軽減が不可欠。働き方改革を推進し、心身の負担を軽減し、子どもたちとの良好な関係構築を促進するとともに、教育現場全体の質を向上させることを目指している。

要望 子どもたちを見守り、過ごしやすい学校生活環境を整えるよう、教員への指導、支援をしっかりと行っていただきたい。

町内施設のLED照明移行

問 国が蛍光灯の製造、輸出入を2027年で終了としているが、各施設のLEDへの移行計画は。

2027年度に近づくにつれ、蛍光灯はさらなる値上げと品不足が予想されるため、早めのLED照明導入は必要では。

答 町長 本年3月に策定した第5次早島町地球温暖化対策実行計画・事務事業編において、環境負荷が少ない設備、製品の導入、更新として、LED照明の割合を2030年までに100%にすることを目標に掲げている。

施設の機能維持及び環境負荷への影響に配慮しながら、適時適切にLED照明への更新整備を実施できるよう計画していく。

YouTube
一般質問の様子はこちら

佐藤辰美 議員

問 「自治体職員と説明責任（著：石川公一）」を参考に、大阪府島本町のように説明責任条例を策定する考えはないか

答 町執行部と議会が共に住民に対して丁寧に説明を尽くし、公正で透明性の高い開かれた行政運営に努める

説明責任に関する提言

問 説明責任条例制定の考えはないか。

答 町長 これまでも説明責任を果たす努力を重ねてきたが、引き続き町執行部と議会が共に住民に対し丁寧に説明を尽くすことに努めたい。

流通団地汚水ポンプ場の非常用発電機

問 電気事業法、消防法以外に準拠する法律はあるか。請願

要望 過去の問題の検証、改革、改善をしない限り、職員の資質向上は不可能であり、自主自立はあり得ない。

に対する回答が事実と異なるが、職員にどのように指導を行うのか。

答 町長 今まで通り指導を行っていく。

答 副町長 行政の無謬性からの脱却が不可欠。法令遵守について、研修等を通じて意識改革に努める。

電気保安管理の契約形態

問 電気保安管理者との契約がなぜ間接契約なのか。合特法との関連、町のトップとしての見解は。

答 町長 合特法の趣旨に即し、日常点検業務を委託。

答 副町長 維持管理業務について、専門業者等との話し合いの中で研鑽を深める。

答 環境上下水道 指摘、提言を受け止め今後の業務に活かす。

更新整備工事の設計及び仕様の瑕疵

問 旧機75ｋＶＡを１５０ｋＶＡとしたのは、設計図の理解不足による誤読及び出力算出ソフトへの誤入力。非常用発電機は電源断の後、40秒以内の稼働が必要。

答 副町長 説明責任を果たす上で、エビデンスを詰める必要がある。専門業者への聴取、部署間での情報共有が第一であり、その観点で事務を進める。

適正な維持管理ができない理由

問 できない理由に職員数を挙げた前町長との認識の違いは。ものづくりの会社を参考とした保全体制の構築を。

答 町長 コンサル等を活用し、適正に役割分担できる体制を構築する。

過去の一般質問における虚偽答弁

問 前総合政策監の答弁についてどのように考えるか。

答 町長 最適な方法であるＮＨ１の使用については理解を求める。

答 副町長 専門的な知見について、引き続き協力を求める。

今後のアクション

問 非常用発電機の容量、制御回路、ポンプ仕様等の適正化を図るとともに、瑕疵に対する対応を求める。

答 副町長 業務の効率化、負担軽減について、先頭に立って取り組む。

町民の皆様からのお便り

「定期演奏会にむけて」

私が早島少年少女合唱団に入団したのは、11年前の保育園の年中組の時でした。

中学校では吹奏楽部に所属し、合唱団と部活動の二刀流で音楽活動に励んできました。

4月6日㈰に開催される第30回定期演奏会では、なんと11年前の定期演奏会の時と同じミュージカル、佐野洋子さん作『100万回生きたねこ』を演奏します。

合唱団や部活動での経験を活かして，皆様に素敵な演奏をお届けできるよう精一杯頑張ります。

4月6日㈰は、ぜひ，ゆるびの舎にお越しください。

早島少年少女合唱団

佐藤　美結

議会モニターを募集します！

早島町議会では、町民の皆様のご意見をお聞きし、より開かれた議会活動を推進するために議会モニターを募集しています。

よりよい町政の推進のため、町民の皆様のご参加をお待ちしています。

議会モニターの要件

〇町内に在住、在勤で満１８歳以上
〇地方公共団体の議員、職員でないこと
〇議会の仕組み、議会運営に興味があること
〇町政、地域社会の発展に興味があること

議会モニターの職務

〇会議(非公開のものを除く)を傍聴し、意見を文書により提出すること
〇議会だより、町議会ホームページに関する意見を文書で提出すること
〇議会運営に関する調査に回答すること
〇年に１回以上、議員と意見交換を行うこと

詳細については、町議会ホームページまたは議会事務局へお問い合わせください
議会事務局　☎ 086-482-2608

令和６年度 二十歳の集い

実行委員の皆様に二十歳の抱負をいただきました。

浮森（ウキモリ）　愛望（マナミ）

大人の自覚を持って、感謝の気持ちを忘れずに努力をし続けたい。

安田（ヤスダ）　颯（ハヤテ）

自分の行動一つ一つに責任を持って、充実した毎日を過ごしたい。

佐々木（ササキ）　ひな

お店で自分のイベントをやるので盛り上げたい。また、夏に留学するのでいろいろなことを吸収して今後に生かしたい。

野中（ノナカ）　颯太（ソウタ）

二十代としての責任と自覚を持って、今一度自分の行動を見直して精進していきたい。

岡本（オカモト）　有生（ユウキ）

若いうちにしかできないことをやって、後々後悔の無いようにしたい。

発行　早島町議会
〒701-0303
岡山県都窪郡早島町前潟3601-1
TEL(086)482-2608
FAX(086)482-4058
編集　議会広報特別委員会

VEGETABLE OIL INK
この広報紙は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。
この印刷は、水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。
この広報紙は、再生紙を使用しています。